

京都から行ける



8 赤坂山

訪れる。

各種施設の整ったマキノ

高原を起点に、若狭と近江を結ぶ街道として古来利用されてきた分水嶺を越える峠道の栗柄越を経て赤坂山に登り、高島トレイルを進み、黒河越からマキノ高原に戻る周回コースを歩いてみよう。

赤坂山（標高824㍎）は滋賀・福井県境にそびえ、花の山として知られる。Ⅱ写真①。稜線上は中央分水嶺・高島トレイルとして登山道が整備されており、多くの登山者が花、自然の造形、展望などを楽しみに訪れる。

マキノ高原管理事務所か

ら草原内の道路を600㍎進むと公衆トイレの右手に登山口があるⅡ写真②。勾配のある登山道を登っていくとアカマツ林が現れ傾斜は緩む。リョウブ、ヤマボウシなどが茂る樹林帯の道をたどると展望が開け、あ

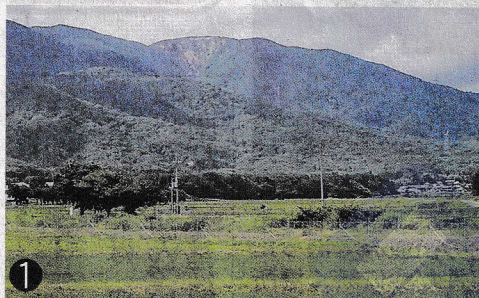


花や奇岩… 見どころ多く

ずまやのあるブナの木平に着く。

ここを過ぎるといったん沢沿いの道となり、治山堰堤を越えると尾根へのつづら折りの登りとなりブナの森が迎えてくれる。足元には石畳が残るところがあり、街道であった往時がしのばれる。

やがて道も緩くなり周囲の樹高が低くなる。お地藏様を過ぎると栗柄越は近い。峠を見守る石仏前を通り、広々とした尾根を進むと琵琶湖と小浜湾を望む赤坂山山頂に着くⅡ写真③。360度の展望を満喫した



ら、トレイルコースに沿って北東に下る。

登り返しが始まると右（南東）側に大きな花こう岩のガレ場が現れ、奇岩の群れが視界に飛び込んでくる。尾根に沿って少し登ると「明王の禿」に着く。

ここから先は、植生豊かな樹林帯の中を進む。多くの草花、花木に出合える。三国山分岐からこのコース最高点である三国山（標高876㍎、旧近江・若狭・越前三国境）は片道およそ10分。時間に余裕があれば足延ばそう。



現れると、やがて木道のある三国山湿原に着く。初夏にはキンコウカの黄色い花が咲き誇る。周囲の木々が高くなり、ミスナラ、ブナの混成する林に入ると黒河

峠は近い。ここで中央分水嶺を離れ、木立の中を八王子川上流の幾つかの沢を横切り続く黒河林道を進み、マキノ高原に向けて下山しよう。マキノ高原からの周回は歩行距離が約15㍎、歩行時間の目安は7時間。

（日本山岳会京都・滋賀支部 須藤邦裕）
Ⅱ次回は12月15日掲載予定です。



アクセス JR湖西線マキノ駅から高島市コミュニティバスで「マキノ高原温

泉さらさ」バス停下車。自家用車の場合、マキノ高原に登山者用駐車場あり。